

倉瀨南北 筆名 劇作家。明治十二年七月二十一日大阪生れ、昭和二十二年五月十四日没（七八〇—一九五七）。本名貞一。別名中井蝶一、加茂下市作、北村喜之助、四道軒、越南生、大島迷仙、奈良文左衛門、屋満登、山鼻筒峰、岩尾知幾判、斯道軒、本庄欽次、清兵衛老、辰野二碧、隅野吉三、露の四郎共衛、黒衣生等。早稻田大學中退。明治二十九年福地櫻痴の入門。片岡我當の座附作者を経て松竹文藝部員。歌舞伎脚本七百數十篇に及ぶ。

著書『酒場の女』（昭和二年十一月）二十五日大阪・近代文藝社）、戯曲『徳川慶喜（南北叢書ノ一）』（昭和四年九月一日大阪・番傘川柳社）、同『天和阪口祿二郎』（昭和五年九月一日大阪・旬刊）、『上方色町道』（昭和五年九月十二日回六書院『通叢書』）、『劇壇生活三十五年』（昭和十五年）三月号、無刊記）、『隨筆大阪』（今著、昭和十八年六月十日大阪・銀城出版社編刊）、芝居隨想『作者部屋から』（昭和十九年一月十日大阪・栄栄堂）、『大阪の瀧治郎』（昭和十九年二月十五日大阪・輝文館）、『南北一隨筆・川柳』（昭和二十四年一月十日大阪・新光社）等。

